



FUKUSHI ASAKUCHI
福祉あさくち

あ たたかく
さ さえあつて
く らせる
ち いきをめざして

社協だより vol.72

11
2024



赤い羽根募金へのご協力

今年もありがとうございます



社会福祉法人 浅口市社会福祉協議会

社協会費への ご協力をお願いします。

— 社協会費は全額 福祉事業に使われます —



地域のつどいの場「ふれあいサロン」



会員章を
玄関に
貼りましょう。

浅口市社会福祉協議会は「誰もが安心して暮らすことのできる福祉のまち」を目指して、行政をはじめ地区社協・地縁団体や福祉団体との連携のもとに、多くの市民のみなさまの参加を得ながら、地域福祉の諸活動に取り組んでいます。

社協会費へのご協力は、地域福祉の参加の一つです。地域の皆さんが心豊かに暮らせる「ふれあい・たすけあい・ささえあい」の福祉のまちづくりのための大切な財源となっております。

本年度も多くの皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

社会福祉協議会とは

地域の福祉を推進する団体です

会費は年会費として

個人会費 1口 1,000円

法人会費 1口 3,000円～



よりしま支え合いフォーラム (R6年7月20日実施)

10月1日から始まった赤い羽根共同募金運動。浅口市内でもこの日金光駅、鴨方駅で街頭募金活動を行いました。金光学園高校、金光中学校、鴨方高校、鴨方中学校の生徒さんもボランティアとして募金活動にご協力いただきました。朝の忙しい時間にもかかわらず、多くの方が足を止めて募金をしてくださいました。皆さんありがとうございました。

表紙のことば



浅口市社協は まちの福祉の応援団です。
皆様からお預かりした社協会費の使いみち

	前年度実績
ふれあいいきいきサロンへの活動助成	2,305,400円
在宅介護者への支援（介護手当支給、活動支援など）	1,395,000円
一人暮らし高齢者への支援（給食サービス、ふとん丸洗いなど）	712,990円
障がい児・者の地域生活支援（共済制度加入支援、行事活動支援など）	894,800円
小地域支えあい活動支援（福祉委員活動、地区社協活動支援など）	1,306,488円
子育て支援（子育てサロン、母子世帯の活動支援など）	129,552円
ボランティア活動への支援（ボラ連絡協議会、ボラ協力校の活動費）	800,000円
社協広報誌「福祉あさくち」発行	1,222,860円
合 計	8,767,090円

上記事業費に対する不足分は、共同募金より補填しました。



車いす体験学習の様子



やさしさも添えて「食事サービス」



市内に2800本設置、「いのちのバトン」

自治会に未加入の世帯は、最寄りの本所・支所にて納入をお願いします。

○本 所 TEL. 44-7744

○金光支所 TEL. 42-7308

○寄島支所 TEL. 54-3317

本格
枰つき餅

祝餅
法要餅
赤飯
ぼた餅
等

お米の持込も
可能です

友原餅店

TEL. 0865-42-2216
浅口市金光町占見新田 361

浅口のリフォーム屋さんです
新事務所オープン！お気軽にお立ち寄りください

小さな
工事でも
ご相談
ください

●リフォーム
●バリアフリー
●水廻り
●内装・外装
●お家の修理・メンテナンス

小野工房

〒719-0243
浅口市鴨方町鴨方 1164-4
TEL. 0865-44-6090
<http://www.onokoubou.com>

私たちは浅口市社会福祉協議会の活動を応援しています。



今年の8月から9月の1か月間、川崎医療福祉大学でソーシャルワークを学ぶ学生が浅口市社協で実習を行いました。

さまざまな実習プログラムの中から、実習中に参加してもらった「災害ボランティア養成講座」と「金光小学校出前福祉講座」をレポートしてもらいます。

神崎さん、塩飽さんよろしくお願ひします！

災害ボランティア養成講座

「災害に強いまちづくりへ」

浅口市社協では、巨大地震や津波、豪雨災害などの大規模災害に備え、災害が起こった時に迅速かつ効果的に被災者の支援活動が行えるように「災害ボランティア」の養成を行っています。

「令和6年度災害ボランティア養成講座」は、9月5日（木）に佛教大学の後藤先生を講師としてお招きしました。後藤先生は、東日本大震災や熊本地震、そして能登半島地震など、全国各地で被災者支援を行ってきた方で、

講義の中で災害時におけるボランティアの取り組みについて、能登半島地震を例にお話をいただきました。実際に、地震発生時にどれだけの揺れを感じ、周りの家屋がどんな状況になっ

ていったのか、災害ボランティアがどんな活動をしているのかについて、写真や動画を用いながら分かりやすく教えてくださいました。定員を大きく超える50名近くの参加者は、先生の話に熱心に耳を傾け、一生懸命にメモを取られていました。

途中には、避難所でも行われる「タッピングタッチ」の体験も行われ

ました。「タッピングタッチ」とは、指の腹を使って肩や背中などの身体



ました。「タッピングタッチ」とは、指の腹を使って肩や背中などの身体各部位を、左右交互にトントンとタッチしていくリラクゼーション法の1つです。実際に2人組になって行い、参加者は落ち着いた雰囲気、中には目を閉じてリラクセスされている方もいらっしゃいました。

講座終了後には、参加された方にインタビューをさせていただきました。講座の感想を伺うと「後藤先生が実際に現地へ支援に入られた方だったから、現場の生の話を聴けてとても参考になった」「地区社会福祉協議会活動を活発にし、防災・減災に備えたい」など前向きな言葉を聴くことができました。

**あなたらしい1枚を
納得できる1枚を**

背景の色や撮影場所などどんな写真を
遺したいか、カメラマンと一緒に
考える生前ご遺影撮影です。

はれのひ写真 0865-43-0130

慢性痛の専門院 **つくし 整体**

● 予約受付は朝11時～ **つくし Go!**
☎ 090-6400-2945

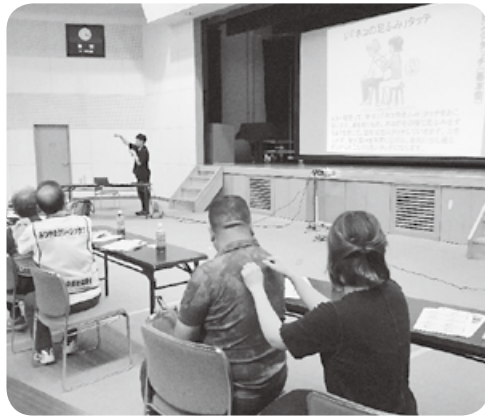
● ホットペッパーからいつでも
予約可(倉敷エリア)

慢性痛の専門院 つくし 整体

私たちは浅口市社会福祉協議会の活動を応援しています。

災害ボランティア養成講座に参加して、災害に強いまちを作っていくために、普段から住民同士のつながりを活発にしていき共助の力を身につけていくとともに、地区ごとで避難訓練をするなど防災意識を高める活動を行っていく必要があると考えました。

(川崎医療福祉大学実習生 神崎)



金光小学校出前福祉講座

『思いやりの心を育てるため』

9月9日・10日の2日間、金光小学校4年生の児童約60人を対象に、出前福祉講座を開催しました。

今回の講座では、浅口手話サークル『青い鳥』や介助ボランティア『たんぼの会』の皆さんと浅口市社協の職員が講師として、次の4つの体験を行いました。

- ① **車いす体験**
3人1組で車いすを「押す、乗る、補助」を交代に体験し、ジグザグに押ししたり体操マットの上で方向転換したりして、車いすの操作や乗る人の不安など体験しました。
- ② **アイマスク体験**
視覚障がいへの理解を深める体験で、アイマスクをして白杖を持ち、ペアの子に案内してもらいながら点字ブロックの上を歩きます。誘導と警告の2つブロックの違いを、足の感触や白杖を使って確かめながら体験しました。
- ③ **高齢者疑似体験**
体に重りや特殊眼鏡、ヘッドホンなどの疑似体験装具を着けて、動きにくい、見えにくい、聞こえにくい状態になります。装具を着けて実際に「教科書を読む」「階段を移動する」「会話をする」するなどして、高齢者の生活のしづらさを体験しました。
- ④ **手話講座**
聴覚障がい者の方とゲームやクイズをしたり、児童一人一人の名前を手話で教えてもらったり交流を図る楽しい講座でした。
子どもたちは全てのプログラムに参加し、車いす体験やアイマスク体験では「声をかけてくれると安心した」、高齢者疑似体験では「僕のおじいちゃん歩く時に歩幅が小さい理由が分かった」のでこれからはお手伝いをした

い」、手話体験では「手話はできなくてもいいと思っていたけど、僕たちにも関係がある」と分かって興味が出た」と感想を聞かせてくれました。

出前福祉講座に参加し、小学生にクイズや体験を通して、楽しんで学んでもらうことで、「障がいマイナなことと捉えさせない」工夫をしていると感じました。また、最近では小学生でも認知症サポーター養成講座を行っており、福祉教育は偏見や差別のない共生社会の実現する取り組みだと実感しました。

(川崎医療福祉大学実習生 塩飽)



セレモニー **光会館 あさくち**

TEL.0865-64-1900 浅口市里庄町里見3297-1

セレモニー 光会館 たましま
倉敷市玉島1401-5(玉島警察署前) **TEL 086-525-2000**

セレモニー 光会館 こんこう
浅口市金光町占見新田680-3 **TEL 0865-42-4000**

ぶつだん事業部 おぶつだんの光
倉敷市玉島柏島5425 **TEL 086-523-0011**

セレモニー 光会館 ゆうざき
倉敷市玉島勇崎1408-5 **TEL 086-528-3700**

セレモニー 光会館 ゆうざき新館
倉敷市玉島勇崎1408-5 **TEL 086-528-3700**

おくるひと、おくられるひとに 寄りそう 御葬式をしたい

光が見える **事前相談 受付中**

●費用のこと ●葬儀のこと ●家族葬のこと ●後見人の方

明確価格提示 豊富なコース 親切・丁寧 まかせて安心

スマホからいつでもご相談ください

私たちは浅口市社会福祉協議会の活動を応援しています。

12月のしめ縄づくりに向けた田植え



SC がゆく

14

生活支援コーディネーター

生活支援
コーディネーターは
「さえあいの
地域づくりを
お手伝いする
専門職です」

金光町は12の地区で構成されており、それぞれの地区で自治が行われています。少子高齢化が急速に進む中、住民同士が支え合い、地域の福祉力を向上させるため『地区社協』の設立が求められています。金光町では12地区のうち7地区に設立済みです。

地区社協（地区社会福祉協議会）とは？

地域の問題を解決しようとしても、公的なサービスだけではすべて解決することはできなくなってきたり、一人でできることも限られます。そのため、地域の困りごとを地域の問題として、関係機関や専門機関と連携・協働しながら解決に向けて協議し「福祉のまちづくり」に取り組むのが、住民主体の福祉組織である『地区社協』です。

浅口市社協は、住民や関係機関等とともに、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進める民間の福祉団体です。住民の皆さまからの声を聴き、共に考え、支えあい、共に動くことを基本に事業展開をしております。そのため、『地区社協』を地域福祉推進の基礎組織として位置づけ、社会福祉の推進をしようと考えています。

地区社協って何をやるの？

- ・ふれあう
ふれあいサロン、食事サービス、運動クラブ、交流会など
- ・学ぶ
福祉講座、ボランティアの養成講座など
- ・支える
地区ボランティアグループの支援など
- ・見守る
見守り活動、あいさつ・声掛け運動、助け合いなど
- ・知らせる
地区社協だより、サロンだよりの発行など

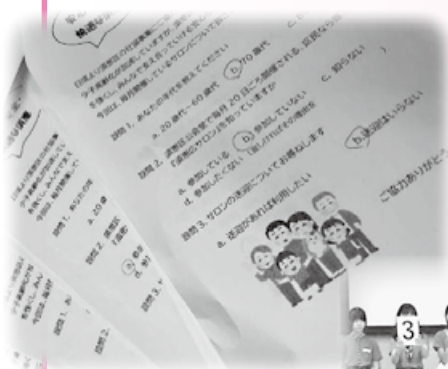
各地域の特徴を活かした『地区社協』の活動が期待されます。

須恵地区ではこの度『ふれあいサロン』について住民アンケートを行いました。送迎の希望や、サロンの意義などについて見直しの機会となりました。広報の大切さにも気づきがあったようです。

また、まちづくり協議会の中から発足した大谷西地区社協では民生委員・福祉委員の皆さんのご協力で敬老会が開催されました。

生活支援コーディネーター

青木 眞美





心身共に鍛えられた幼少期

笠岡市西大戸で生まれました。3人兄弟の長女で第2人でした。こどもの頃、父が戦争で亡くなりましたが、おじいさんおばあさんに大事に育ててもらいました。昔は自動車がなかったので学校に通うにもバスに乗るのに金浦まで30分以上かけて歩きました。バスに乗らずに友達と笠岡まで歩いて遊びに行くこともありました。

中学からはおじいさん・おばさんが送ってくれることも多くなりました。その代わりに畑や田んぼ仕事を一生懸命手伝いました。父が居なかったので買い物も自転車を漕いで行ったり、小学2年生の頃から弁当は自分で作っていました。おかげで何をするのも大丈夫になりました。

海運業の手伝い

21歳の頃、寄島の国頭に嫁にきました。嫁いだ家は15人家族の大所帯でした。ご飯を炊くのも洗濯するのも量が多いので大変でした。主人の家が海運業を営んでいたため港で荷揚げの手伝いもしました。荷揚げした醤油や味噌、お酢など寄島のお店に運ぶのは私の仕事でした。自転車を漕いで寄島のお店全部を廻りました。今でも昔からある寄島のお店は全部覚えています。

奉仕活動で元気に

昭和56年には中新開地区に引っ越してきました。以来、地区の役員や奉仕活動を頑張りました。愛育委員、栄養委員ともに18年以上務めました。町の給食ボランティアが出来た時、その経験を買われてボランティアをすることになりました。ボランティアで給食を作っていると、貰う皆さんから大変喜ばれて嬉しく思いました。道であった時に「今度はあれを作って」とリクエストを受けることもあって「ほんならしたげらぁ」と応えてあげることが楽しみでした。

元気の秘訣はいつも何かすること！

家でじっとしているのが嫌いなので朝5時には起きます。起きて家の掃除をして、家の前の公園も掃除します。掃除が終わったら、その日一日の食事を全部作ります。余ったものはご近所にお裾分けしたりしています。サロンや体操も楽しみに行っています。お元気デいで習った俳句も今では作るのを楽しんでいます。いつも何かすることは、自分にとっての生きがいです。今度は何をしようかと楽しみにすることで元気でいられます。

美星牛の自動販売機
星の郷青空市前(美星)と店舗前(鴨方)で販売中

11/22(金)・23(土)は **大創業祭!!**

肉ガチャ
何が出るかお楽しみ!!

浅口市鴨方町益坂1384-1
営業時間：10時～19時
TEL：0865-44-1374
FAX：0865-44-1375

どうぞお気軽にご連絡ください

事務所移転しました

各種不動産登記 相続 成年後見 遺言

宗澤事務所 TEL：0865-54-0071 FAX：0865-54-0076

E-mail: munesawa-jim24@rainbow.plala.or.jp



カメラルポ

保育園・こども園

市内に7か所ある保育園・こども園では、かわいい子どもたちのお兄ちゃん・お姉ちゃんとして頑張ってくれました。

過去にない厳しい暑さの中、元気いっぱいの子もたちと一緒に遊んだりお世話をしてくれたり、どの生徒さんも活動に意欲的に取り組んでくれました。

子どもたちもお兄ちゃん、お姉ちゃんとなかよきの思い出を作ることができました。



感想

体力が必要な仕事で、積極的に動いたり話したりすることが大切だと多くのことを学び、意識しながら活動しました。幼児と関わることの楽しさも感じましたが、とてもやりがいを感じられました。



高齢者施設

高齢者施設では、特にデイサービスなどで活動しました。利用者の皆さんと一緒に体操やレクリエーションをしたり、飾りの作成をしたりしながら活動し交流も図りました。中学生・高校生のボランティアから利用者の皆さんにたくさんの元気を届けることができました。



感想

利用者さんと一緒に脳トレをしたりお話ができて嬉しくて、笑ってくれてうれしかったです。大変な仕事だけど、やりがいのある仕事だと思いました。

今年浅口市内在住・在学の中・高校生147名が「夏のボランティア体験」に参加し、市内の高齢者施設や保育園・こども園、障がい者施設、学童保育、公共施設やボランティアグループなどで活動してくれました。

2024夏のボランティア体験

子育てサロンなかよしひろば ～遠足にいったよ～

9月26日、子育てサロンなかよしひろばのおともだちはボランティアさんたちと、玉島みなと公園へ遠足に出かけました。当日はお天気にも恵まれ、子どもたちは遊具で、砂場で、元気いっぱい楽しんでくれました。



赤い羽根共同募金「駅頭募金活動」

10月1日から始まった赤い羽根共同募金運動で、10月1日の朝、JR金光駅とJR鴨方駅で募金活動を行いました。

活動には、金光学園高校、金光中学校、鴨方高校、鴨方中学校の生徒27名が参加してくださり、募金の呼びかけにご協力くださいました。

お寄せいただいた募金は、浅口市の地域福祉活動や福祉事業、災害への支援に活用されます。ご参加、ご協力くださいました皆様、ありがとうございました。



～こうのとりにへのメッセージ～

こうのとりにからの贈りもの事業を利用された方に、利用されての感想やお子さんへのメッセージをお寄せいただきましたので、ご紹介します。
このメッセージは、本誌で毎号掲載いたします。

◎こうのとりにからの贈りものを利用して◎

おしりふきと缶のミルクをいただきました。
缶のミルクはお出かけにも防災備蓄にもぴったりで
助かりました。
自宅まで届けてくださりありがとうございました。

♥お子さんへメッセージ♥

かわいい、かわいい月ちゃん♡
ごはんをたくさん食べてくれてありがとう♡
お兄ちゃんと一緒にいろんなところへ遊びに行つて、楽しい
こといっぱいしようね。



つきは
藤野 月葉ちゃん
2023年10月4日生まれ

◎こうのとりにからの贈りものを利用して◎

キューブタイプのミルクとおしりふきをいただき、大変重宝しました。
届けて下さった際には、子どもの誕生にお祝いの言葉をいただき、
とても嬉しかったです♪ ありがとうございました!!

♥お子さんへメッセージ♥

我が家に生まれてきてくれてありがとう！
忙しくてあっという間の日々だけど、おかげで幸せな毎日を過ご
せているよ。
これからも元気にすくすく大きくなってね！
家族のみんなより

ひかる
黒木 光瑠くん
2023年10月30日生まれ



「こうのとりにからの贈りものプロジェクト」

浅口市社会福祉協議会では、浅口市に生まれた赤ちゃんとお母さん、お父さんをお祝いする「Welcome Baby ～こうのとりにからの贈りもの～」を応援して下さるご寄付を募集しています。

お寄せいただいたご寄付は、以下のことに活用させていただきます。

- ベビー用品の購入費用
- 1歳の誕生日にバースデーカードを贈る費用 など

詳しくは、QRコードからチラシをご覧ください、浅口市社会福祉協議会までお問い合わせください。



こうのとりにからの
贈り物
プロジェクト



最近よく目にするSDGsという言葉。
SDGsのことを浅口市社協キヤラクター「てごまる」と一緒に学んでみませんか？
今回はSDGs3番目の目標「すべての人に健康と福祉を」をテーマにお届けします。



エスディージーズ
また、これらの国では、病気になることもお医者さんに診てもらいにくい環境でもあります。日本では、414人に1人の医師がいますが、アフリカの馬拉ウイ共和国では63,694人に1人しか医師がいません。病気やケガで治療を受けられるチャンスは国や地域によって大きな差があります。

一方、日本でも少子化、超高齢社会、認知症、増大する社会保障費、無縁社会などの問題があり、SDGsに明確に掲げられてはいませんが、介護予防、認知症予防、社会的孤立の解消などの取り組みが求められています。
(出典…日本ユニセフ協会)

○目標の内容
3番目の目標は、地球上のすべての人が心身ともに健康で、社会的にも満たされた、幸福な生活を送ることが掲げられています。誰もが平等に、保健医療や公衆衛生のサポートを受けられる社会の実現を目指しています。

○医療や福祉の問題
アフリカや南アジアなどの国々では、5歳になる前に命を失う危険性が高く、早産や肺炎、下痢などがその原因と言われています。予防や治療ができるものが原因で命を失ったり、特に早産は母親の栄養不良や医療的なケアの不足で生後28日以内に亡くなったりしています。



今回は「4. 質の高い教育をみんなに」をご紹介します。

○浅口市協のとりくみ
SDGs3番目の中目標には「健康をおびやかす危険な状態が発生したときに、それにすばやく気づいて知らせ、危険な状態を減らしたり、対応したりする力を強める」とあります。浅口市社協では、民生委員や福祉委員をはじめ地域の皆さんとともに、ふれあいサロンや地区社協活動、見守り・声かけ活動などを通じて、身近な地域住民の困りごとに基づき、解決に向けた支援につなげる取り組みをしています。また、地域のつながりづくりは、災害時の防災、減災にもつながります。

何をしているの？
?

一年の労をねぎらい、新たな気持ちを語り合う… 美味しい料理で楽しいひとときを

冬の宴 良寛荘の忘新年会プラン

倉敷国際ホテル直営 くらしき玉島 国民宿舎 良寛荘

2時間 飲み放題付

お一人様 **¥6,800** (税込)

飲み放題 (2時間) お一人様
生ビール / 瓶ビール / 日本酒 / 焼酎 / ウイスキー / ハイボール / ノンアルコールビール / 各種ソフトドリンク

ご予約特典 当日使用可・お一人様1枚

ご入浴券プレゼント!

特典
◆会場室料無料
◆送迎バス無料 要予約 (10名様以上)

ご予約・お問い合わせは
TEL.086-522-5291
FAX.086-522-8048
〒713-8123 倉敷市玉島柏島478
https://www.ryokanso.jp

※料理の内容は一例です。
※10名様から承ります。
※期間：2024年11月1日～2025年1月31日

この他ご予算に応じたプランや、記念撮影・花束等も承っております。お気軽にご相談ください。仕入れ状況等により料理内容を変更させていただく場合がございます。

私たちは浅口市社会福祉協議会の活動を応援しています。

赤い羽根募金へのご協力ありがとうございます

～赤い羽根共同募金の使いみち～

今年も赤い羽根共同募金にご協力いただきありがとうございます。
 昨年度、みなさまからお預かりした共同募金は、浅口市社協が行う
 次の事業に活用させていただきました。※歳末たすけあい募金をのぞく
 ご協力くださりありがとうございました。

今年度の募金も、地域の福祉を進めるための事業に全額活用させていただきます。



- | | |
|----------------------------------|--------------------------------|
| ① ボランティア協力校 (市立小中学校 10 校) | ⑧ 災害ボランティアセンター事業
(研修会・防災訓練) |
| ② 障がい者施設交流事業
「赤い羽根わいわいオンステージ」 | ⑨ 地域福祉活動計画の事業実施 |
| ③ 子育てサロン事業 | ⑩ ホームページ管理・運営 |
| ④ ボランティアフェスタ (イベント開催) | ⑪ 福祉用具貸出事業 (車いす・チャイルドシート) |
| ⑤ 社協広報誌「福祉あさくち」発行 | ⑫ 地区社協活動推進事業 (市内 14 地区) |
| ⑥ 赤い羽根クリスマスの集い
(ひとり親世帯支援事業) | ⑬ おもちゃ病院事業 |
| ⑦ ふれあいサロン事業 | ⑭ 「居場所づくり」助成事業 (集会場等の備品整備) |
| | ⑮ 赤い羽根啓発グッズ作成 |



赤い羽根わいわいオンステージ ②



ボランティアフェスタ ④



子育てサロン「親子遠足」 ③



地区社協活動推進事業 ⑫

創・食・美・酒

浅口劇場

営業時間 11:00~14:00 17:30~24:00

慶事・法事・行楽の
お弁当やおードブル

居酒屋メニュー・鶏鍋・鴨鍋・モツ鍋などお持ち帰りできます。

ご注文は!! 浅口市鴨方町鴨方1647-1 (コープ鴨方すぐ横)
TEL・FAX: 0865-45-8092

ご注文承ります!

愛車のことなら何でも お任せください!!

民間車検工場

新車販売、中古車販売・買取り、钣金・塗装、車検・修理、自動車保険

Auto Produce
Pros
Since 2003

安心と信頼のカーサポート!
オートプロデュース・プロス

有限会社 プロス
TEL (0865) 44-1239
〒719-0231 浅口市鴨方町小坂西 3700-2
LINE ID: bros3700
E-mail: bros1239.n@gmail.com
■営業時間 / AM9:00~PM6:00

私たちは浅口市社会福祉協議会の活動を応援しています。

受賞おめでとうございます

◆社会福祉事業の各分野で功績のあった個人と団体に表彰が贈られました。

(敬称略・順不同)

岡山県社会福祉協議会会長表彰

・塩田陽子(金光町)

岡山県子ども福祉部長表彰

・吉岡貴美(鴨方町)

岡山県民生委員児童委員協議会会長表彰

・大岸貴美子(鴨方町)

・山内悦子(鴨方町)

岡山県老人クラブ連合会会長表彰

特別功労者

・佐藤元信(金光町)

・高橋 豊(金光町)

・渡辺次彦(金光町)

一般功労者

・高橋 勇(寄島町)

・花房 貫(寄島町)

優良老人クラブ

・池ノ平団地福寿会(鴨方町)

・池ノ平老人クラブ(鴨方町)

みんな
集まれ!!

赤い羽根キッズクラブ

知っているかな? 赤い羽根共同募金のことを

「赤い羽根共同募金」には、7つの「ふしぎ」があります。
みんなは、いくつ知っているかな?
ここでは、「赤い羽根共同募金」について、みんなが「どうして?」と思っていることを教えます。

(赤い羽根共同募金ホームページより)



その1 「赤い羽根共同募金」の羽根は、どうして赤色なの?

「赤い羽根」は、勇気と良い行いのシンボルだからです。
アメリカの先住民は、いろいろな色の羽根かざりを頭などにつけていましたが、羽根には色に**よ**って意味がありました。勇気のある行いや、良いことをした人が、「赤い羽根」をつけていたと言われています。

その2 「赤い羽根共同募金」はいつから始まったの?

日本の「赤い羽根共同募金」は、今から70年以上前の1947年にはじまりました。太平洋戦争がおわって、焼け野原でたくさんの人たちが苦しんでいるなかで、助けあいの「赤い羽根共同募金」がはじまりました。最初は、戦争で家や家族をうしなった子どもたちのために、寄付が役立てられました。だれもが苦しい生活でしたが、5億円をこえる寄付が集まりました。

残り5つの「ふしぎ」は次のQRコードから見るすることができます。
おうちの人といっしょに赤い羽根共同募金の「ふしぎ」を調べてみてね。



赤い羽根キッズクラブ
(共同募金会HP)



あさくち権利擁護推進センターだより

ほっと・ネット通信

他人事ではない「ビジネスケアラー」

介護と仕事を両立する人のことを“ビジネスケアラー”と呼んでいます。経済産業省のデータによると、2020年時点の家族介護者は678万人、うちビジネスケアラーは262万人とされています。民間調査会社（株式会社リクス）のデータでは、40代後半の20人に1人、50代前半の8人に1人がビジネスケアラーであると推計されています。

ビジネスケアラーは仕事と介護を両立するため、十分な休息を取ることが難しく、睡眠時間やプライベートの時間が不足して疲労の蓄積が指摘されています。また、介護は一般的にいつまで続くか見通しがつかず、不安が強くなる傾向があります。そうなると、生活自体に疲れてしまい、仕事のモチベーションを維持することも困難となってまいります。介護者によっては、健康を崩す、うつ状態となることもあります。

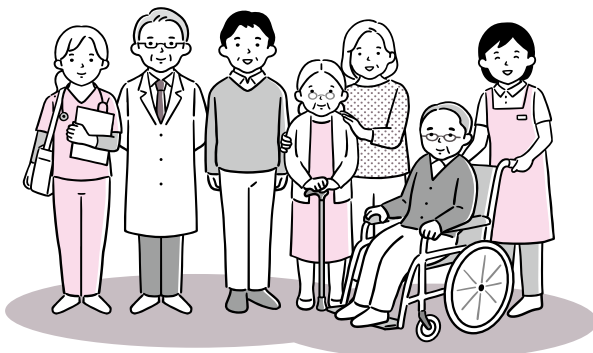


介護しながら働き続けるためにどうしたらよいのでしょうか。

- 1) 会社の「介護休業」「介護休暇」「所定労働時間の短縮等の措置」などを利用する。
- 2) ひとりで悩まず周囲の人に相談する。助けを求める。
- 3) 自治体や地域包括支援センターなどの介護相談の窓口を活用する
- 4) 適度に介護サービスを利用する。
- 5) 介護が必要になったときに備え、貯蓄や介護に関する知識の習得などしておく。

ビジネスケアラーは、個人の問題ではなく、地域や勤務先を含む社会全体で取り組むべき課題です。ビジネスケアラーにとって、周囲の人の理解、ちょっとした手助け、ねぎらいの言葉かけ

だけでも心はかなり安らぎます。またビジネスケアラーと呼ばれる人は、ひとりで悩みを抱え込まず、周囲の人や会社、専門機関等へ相談し、助けを求めることが大切です。専門機関のひとつに浅口市地域包括支援センター（電話0865-44-7388）があります。お気軽にご相談してみたいはいかがでしょうか。



篤志御礼

(令和6年9月30日まで)
ご寄付ありがとうございました。
地域福祉事業に有意義に使用させていただきます。

金光町

- 井上 義夫さん(占見)より 亡妻 君子さんの香典返し

鴨方町

- 秋田 洋子さん(鴨方)より 亡夫 眞達さんの香典返し
- 原 耕一さん(小坂東)より 亡母 晴子さんの香典返し
- 中西 春子さん(益坂)より 亡夫 武洋さんの香典返し
- 高橋 祥二さん(六条院東)より 亡母 照子さんの香典返し

一般寄付

- 岡山県年金協会浅口中中央分会より 篤志寄付
- このところからの贈りものプロジェクト
- 備陽美術協会
- 栗山 博明さん
- 金光 英子さん



クイズ 探して並べて

今号の紙面に□で文字をかこんだ箇所が7か所あります。この7文字をならべかえて言葉をつくって下さい。

◆ヒント 共同募金のキャッチフレーズ

「じぶんの町を・・・」。

◆締め切り 12月31日(火)消印有効

応募方法

官製ハガキに住所、氏名、答えと「福祉あさくち」の感想を必ずお書きの上、〒719-0243 鴨方町鴨方73番地 浅口市社会福祉協議会まで。

◆前回の答え「じぶさわえいいち」

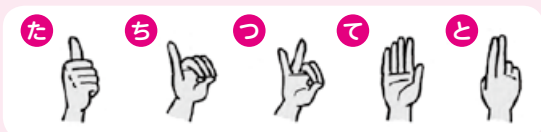
(沢沢栄一)

正解者の中から抽選で20名に記念品贈呈。

Let's 手話 23



井上三枝子さん (浅口手話サークル「青い鳥」)



にぎった手から親指を立てる



5指をつまんで小指だけ立てる。数字の「千」も同じ形



5指をつまんで薬指と小指をたてる「ツ」の形から



手のひらに向けて。手を出すだけで「て」



手の甲を外に向けて人差し指と中指を立てる

ご葬儀の事前相談受付中



受付時間 毎日10～16時
お好きな時間でお電話ください

井笠広域会館 鴨方ホール

〒719-0243 岡山県浅口市鴨方町鴨方808-1

家族葬
1日1組限定

ハナリエ 金光

〒719-0105 岡山県浅口市金光町占見147-1



わたる岡山

検索

☎ 0120-65-1880

私たちは浅口市社会福祉協議会の活動を応援しています。

第4回 浅口 祭りイフェスタ

浅口市内で活動するボランティア団体による、楽しいイベントを企画しました。たくさんの方のご来場をお待ちしています。

11月16日(土)
10:00~14:00
浅口市健康福祉センター
 (浅口市鴨方町鴨方2244-26)

～内容～
 ステージ発表 展示コーナー
 体験コーナー 物品販売(バザー)

主催：浅口市ボランティア連絡協議会・浅口市社会福祉協議会
 問合せ：浅口市社会福祉協議会 TEL.0865-44-7744

福あさ 「お月見」
4コマ劇場
 提供：鴨方高校デザイン・イラスト系列



歳末見舞金支給のお知らせ
 — 「歳末たすけあい募金」配分 —

対象者

- ①身体障がい者手帳 1・2級 所持者
- ②療育手帳 A・B 所持者
- ③精神障がい者保健福祉手帳 1・2級 所持者
- ④義務教育以下のお子さんを一人親で養育している方

①～④の方で次の条件にすべて該当する方

- ◎市民税に所得割がかかっていない世帯
- ◎市内に住所を有する方
- ◎在宅で生活されている方

申請手続き

- ・所定の申請用紙等が社協本所・支所にあります。
- ・申請時には、印鑑及び所持する手帳、振込を希望する通帳をご持参ください。

締切り **11月29日(金)** 厳守

社協だより

社会福祉法人
浅口市社会福祉協議会

- 本 所 浅口市鴨方町鴨方73
TEL 0865-44-7744
- 金光支所 浅口市金光町占見新田751
TEL 0865-42-7308
- 寄島支所 浅口市寄島町16010
TEL 0865-54-3317
- カニ丸の家 浅口市寄島町16089-17
TEL 0865-54-3113

浅口市社協の情報あれこれ

facebook ご覧ください